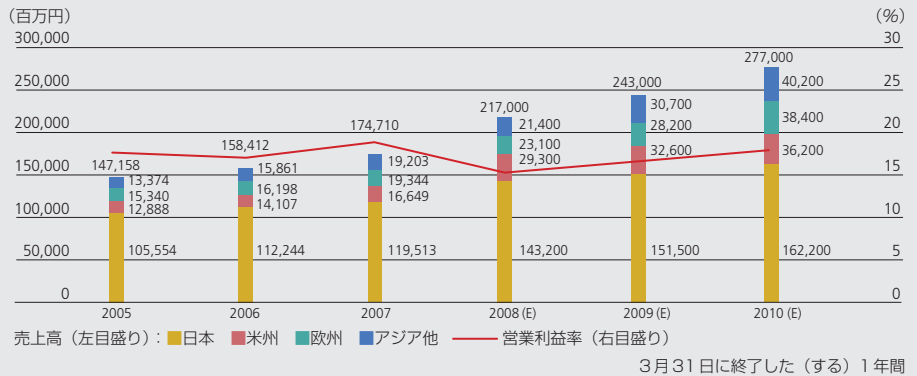


地域別事業概況

「2010年度ビジョン」では、数値目標として連結売上高3,000億円を掲げており、その中で海外売上高1,500億円、海外売上高比率50%を目指しています。その実現に向けて、需要地生産こそが最適地生産との考えのもと、日本、米州、欧州、アジアの4極において製販一体体制を構築し、事業規模の拡大に努めています。

売上高および営業利益率の推移



■ 日本

好調な企業業績を背景とした高水準の設備投資や中国をはじめとした新興国における機械需要の増加に加え、情報通信機器やデジタル家電等の需要拡大に伴うエレクトロニクスメーカーの設備投資も増加基調を維持しました。このような環境の中、工作機械、一般機械、エレクトロニクス向け等が総じて好調に推移し、2006年度の売上高は、前期比6.5%増の1,195億13百万円となりました。

■ 米州

好調な個人消費に支えられ設備投資が好調を維持する中、既存顧客への取引拡大と新規顧客の開拓に努めた結果、2006年度の売上高は、前期比18.0%増の166億49百万円となりました。

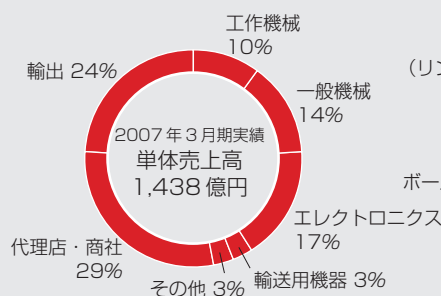
■ 欧州

東欧における機械需要の増加など外部環境が好調に推移する中、製販一体となった営業展開を強化した結果、2006年度の売上高は、前期比19.4%増の193億44百万円となりました。

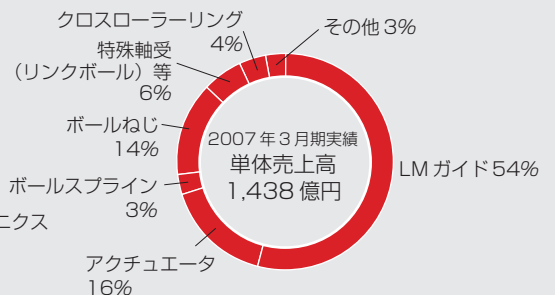
■ アジア他


中国では北京オリンピックなどの大型イベントを控えて経済が高成長を続ける中、設備投資が拡大し、工作機械向け、一般機械向けが好調に推移し、台湾でも中国向けの機械需要の増加により、工作機械向け、一般機械向けを中心に売上高を伸ばすことができました。その結果、2006年度の売上高は、前期比21.1%増の192億3百万円となりました。

業種別売上高構成比 (単体ベース)



製品別売上高構成比 (単体ベース)





■ 本社
○ 生産拠点

3期連続で過去最高を達成

2006年度の日本国内での売上高は前期比6.5%増の1,195億円となり、前期に引き続き過去最高を達成しました。好調な企業業績を背景とした高水準の設備投資や中国をはじめとした新興国における機械需要の増加に加え、情報通信機器やデジタル家電等の需要拡大に伴うエレクトロニクスメーカーの設備投資も増加基調を維持しました。このような環境の中、THKでは、生産能力の増強、販売力強化、開発力強化など、全方位でのレベルアップに努め、需要の増加を確実に売上高の増加に結びつけることができました。

まず生産面では、期初から計画していた山形工場の第3工場、THK新潟の第3工場を、2007年2月と2006年12月に、それぞれ予定どおり稼働させることができました。また2006年度は、こうした積極的な設備投資に加え、2005年度に実施した国内生産拠点における生産品目の再

編の効果が現れ、収益体質の強化につながりました。さらに、日本国内における物流の合理化を目的に、岐阜工場内に中部商品センターを2007年1月より本格稼働させました。従来の東京・大阪の商品センターはこれまでの役割を縮小させながら、全国的な物流機能を中部商品センターへ集約させていきます。

一方販売面では、営業スタッフのスキルアッププログラム「TAP 1 活動」の継続・強化を図りました。この結果、問題解決型の提案営業のスキルが着実に向上しており、既存顧客の深堀と新規顧客の開拓の両面に貢献しました。また、新規分野の開拓については、FAI事業部では採用メーカー数を増加させるだけでなく、トップクラス車種への標準部品に採用されるなど、製品性能の高さ、品質管理、アフターサービスなどTHKの総合力を示した年となりました。また、ACE事業部では免震装置の導入棟数を堅調に伸ばし、CAPプロジェ

クトでは採用製品を増加させるなど、国内売上高の増加に貢献しました。

また開発面では、電動化やユニット品といった需要の質的な変化への対応を強化しました。2006年度は、リニアモーターアクチュエータの新規形番の開発やリニアモーターに特化したドライバの開発などに成功しました。

全方位でのレベルアップを継続

2007年度、国内においては、工作機械はアジアを中心として継続的に外需が増加すると見えています。一般機械およびエレクトロニクスでは、それぞれ前下期以降調整に入っていたチップマウンタやフラットパネルディスプレイ関連の設備投資が回復に向かうと予測しています。これらに加え、2007年5月に完全子会社したリズムを連結することにより、2007年度の国内売上高は前期比19.8%増となる1,432億円を計画しています。

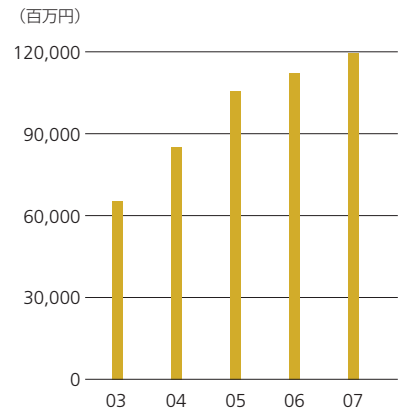
販売拠点	49
生産拠点	9
商品センター	4

- ・ THK 株式会社
- ・ 大東製機株式会社
- ・ トークシステム株式会社
- ・ 株式会社ベルデックス
- ・ THK 新潟株式会社

2007年3月31日現在

※ グループ企業の主な事業内容については、
86頁をご参照ください。

売上高推移



3月31日に終了した1年間

この計画達成のため、販売面では、「TAP 1 活動」を継続的に推進し、既存顧客の深堀と新規顧客の開拓の双方を進めていきます。そのため、製品特性のアピールだけでなく、お客様の問題解決の手段としてTHK製品の採用を図る提案営業を強化していきます。新規顧客の開拓にあたっては、的確なターゲティングを図りながら、効率的な営業活動を展開していきます。このように、現在のビジネスの主力である資本財向けでは需要を確実に受注につなげていきます。また、同時に新規分野の開拓に取り組み、ビジネス領域の拡大を加速させていきます。

生産面では、2001年より実施してきた「TAP 2 活動」により、受注の変動に機動的に対応し効率的な生産ができる体制を確立しており、2007年度は、この強みを一層強化していきます。具体的には、「TAP 2 活動」を継続し、さらなる生産性と品質の向上に取り組むとともに、売上高の伸びを着実に収益につなげていきます。また、今後のさらなる売上高の増加に対応すべく、生産能力の拡充も図っていきます。なお、2007年5月に完全子会社化したリズムにおいては、生産性向上を目的とした設備投資を実施し、利益率の向上につなげていきます。

開発面では、2005年度のテクノセンター開設による研究開発機能の集約、2006年度に実施した研究開発組織の見直しといった体制強化の成果を求めていきます。さらなる開発スピードの向上を図り、開発製品数を増加させていきます。

今後も「2010年度ビジョン」の達成に向けて、生産、販売、開発全ての面で積極的な経営を推進していきます。

アメリカ

● 販売拠点
○ 生産拠点

体制と事業概要

アメリカでは、THK Holdings of America, L.L.C.のもと、販売子会社であるTHK America, Inc.と生産子会社であるTHK Manufacturing of America, Inc. (TMA) とが製販一体となった事業活動を展開しています。2006年度、THK Holdings of America, L.L.C.は3期連続で増収（円ベース）を達成することができました。

アメリカにおける販売面の特徴としては、幅広い分野でTHK製品の導入に成功していることが挙げられ、主力である工作

機械、一般機械、エレクトロニクス分野だけでなく、自動車関連、航空宇宙関連などの様々な分野にLMガイドやリンクボール、ボールねじなどを販売しています。

TMAは、LMガイドとリンクボールの生産拠点として、現地販売の55%（2006年度実績）を供給しており、高品質な製品の安定供給と短納期対応などにより競争力の向上に貢献しています。なお、TMAは、2006年1月にLMガイドでISO9001-2000の認証を、12月にはリンクボールで自動車業界のセクター規格ISO/TS16949の認証を取得しました。

販売：既存顧客との取引拡大、新市場、新規用途の開拓に注力

THK America, Inc.では、既存のお客様におけるシェア向上により安定した成長を果たすと同時に、成長スピードを加速させるべく、カナダ、メキシコなどの新市場および新規用途の開拓を強化しています。THK独自の営業スタッフのスキルアッププログラム「TAP 1活動」も継続的に推進しており、2006年度は、こうした取り組みの成果が確実に表れ、3期連続で増収（円ベース）を達成することができました。具体的な成果として、2005年より本格的に市場参入したメキシコで急速に売上高を伸ばすことができました。また、フィットネスマシン等の健康器具関連やマウンテンバイクなどの新規用途でTHK製品をご採用いただくことができました。

2007年度のアメリカの景気は底堅く推移すると予想しています。そのような中でエレクトロニクス産業を中心に、設計作業の簡素化やコンパクトな設計を実現するためのモジュール化ニーズが高まってきて



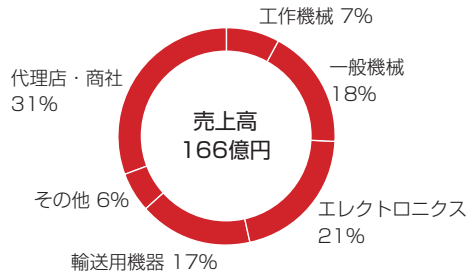
桑原 淳一 取締役 THK Holdings of America, L.L.C. 代表取締役社長
THK America, Inc. 代表取締役社長

アメリカ	販売拠点	9
	生産拠点	1
カナダ	販売拠点	1
ブラジル	販売拠点	1

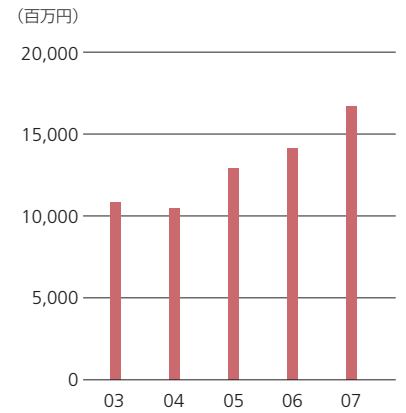
- ・ THK Holdings of America, L.L.C.
 - ・ THK America, Inc.
 - ・ THK Manufacturing of America, Inc.
- 2007年3月31日現在

※ グループ企業の主な事業内容については、86頁をご参照ください。

業種別売上高構成比（当該年度）



売上高推移



3月31日に終了した1年間

います。そのためTHK America, Inc.では、お客様のニーズを把握し、的確にお応えするため、ユニット品の提案営業を強化しています。同時に、これまで以上に現地生産拠点を持つ優位性、すなわち高品質かつ短納期での製品提供力や品質保証、技術サービス体制の充実等を十二分にお客様にアピールしていくことを重点施策としています。加えて、新規用途の開拓も引き続き積極的に進め、2007年度に4期連続の増収（円ベース）を目指すとともに、「2010年度ビジョン」の達成に尽力していきます。

生産：競争優位の下支えと収益性の向上

現在TMAでは、現地需要に対応した製品を安定的かつ短納期で供給すべく、生産フローの改善などによるリードタイムの短縮と、生産品目の拡大に努めています。2006年度はリードタイムの短縮に向けて、習熟度向上のための作業教育の充実、個別作業の可視化による無駄の排除などとともに、生産プロセスごとの目標管理を実



槇 信之 THK Manufacturing of America, Inc. 代表取締役社長

施しました。生産品目の拡大に関しては、2006年度よりLMガイドの新規形番の生産に着手しており、今後はユニット品の本格的な生産拡大とリンクボールのダイカスト生産を開始する計画です。

そのような取り組みと同時に、収益性の向上にも努めています。2006年度は、固定費の増加を極力抑え、主に作業の効率化による生産キャパシティの拡大を果たしました。2007年度はさらなる収益性向

上を図るべく、多能工化教育の強化、改善提案制度の実施による現場のコスト意識・効率意識の浸透、生産フローのさらなる効率化、歩留まりの向上など、多様な角度から改善活動を進めていきます。

ヨーロッパ

● 販売拠点
○ 生産拠点

体制と事業概要

ヨーロッパの地域統括会社である THK Europe B.V.は、組織の効率化を図りながら、2006年度も順調に事業規模の拡大を果たし、売上高は前期比2桁パーセント増（円ベース）とすることができました。

THK Europe B.V.は、販売子会社として THK GmbH と THK France S.A.S. を擁し、ヨーロッパ8カ国に販売拠点を設けるほか各国に販売代理店網を配し、ヨーロッパ各国のお客様に THK 製品を販売しています。

生産子会社としては THK Manufacturing of Europe S.A.S. (TME)

および PGM Ballscrews Ireland Ltd. を擁しています。TMEにおいて LM ガイド、ボールねじ、リンクボール等を、PGM においてボールねじを生産しており、品質や納期等に対する欧州のお客様のニーズに柔軟に対応できる体制としています。なお、2006年度においては現地需要の約4割を生産しています。

販売：独自の強みの柔軟な活用

2006年度、ヨーロッパの販売子会社では、注力すべき業界・地域を明確化し重点的な拡販を展開するとともに、「TAP 1 活動」の浸透もあり、販売力向上に確かな手

応えを感じることができました。

具体的には、重点販売業界とした航空機関連業界、家具・家電等の民生品業界において取引を拡大することができました。いずれも業界大手企業との取引であり、今後は取引のさらなる拡大とともに業界他社への拡販を強化していきます。また、重点販売地域としたトルコ、ロシア、および東欧各国において、代理店政策を見直すとともに販売製品を絞込み、成果を得ることができました。今後は代理店営業の支援や営業教育等を一層強化し、売上高のさらなる向上につなげていきます。

2007年度は、欧州経済が拡大を続ける中、東欧における機械需要の増加を背景に高水準の需要が見込まれ、かつお客様のニーズが多様化、高度化していくと考えています。その中で、需要の増加を確実に受注につなげるべく、取り組みを強化します。具体的には、現地生産拠点での生産品目を増加させることに加え、物流体制を見直すことにより、お客様の多様なニーズにマッチした製品を短納期で供給していきます。

このほか、ヨーロッパに本社機能を有す



林田 哲也 取締役
THK Europe B.V. 代表取締役社長
THK GmbH 代表取締役社長
THK France S.A.S. 代表取締役社長
PGM Ballscrews Ireland Ltd. 代表取締役社長

ドイツ	販売拠点	3
イギリス	販売拠点	1
アイルランド	生産拠点	1
オランダ	商品センター	1
イタリア	販売拠点	2
スウェーデン	販売拠点	1
オーストリア	販売拠点	1
スペイン	販売拠点	1
フランス	販売拠点	1
トルコ	販売拠点	1

- ・ THK Europe B.V.
- ・ THK GmbH
- ・ THK France S.A.S.
- ・ THK Manufacturing of Europe S.A.S.
- ・ PGM Ballscrews Ireland Ltd.

2007年3月31日現在

※ グループ企業の主な事業内容については、86頁をご参照ください。

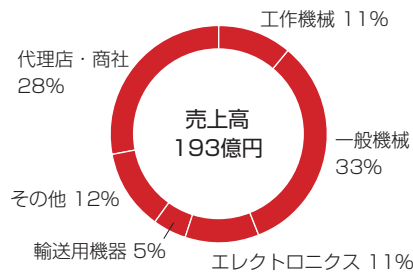
グローバル企業が、生産拠点をアジアにシフトする動きが加速しています。そのような状況下で、高品質な製品・サービスをグローバルなレベルで供給できる強みをアピールし、THKグループとしてのシェアの拡大につなげています。また、機械産業が活発なヨーロッパには、最先端の技術が多数存在しています。「2010年度ビジョン」の達成に向けて、それらを吸収し、全世界のTHKグループに発信する役割も果たしていきたいと考えています。

生産：現地生産比率50%を目指して

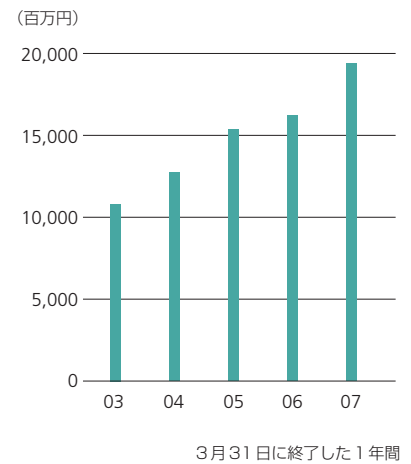
2006年度、TMEでは、受注の好調なボールねじ、アクチュエータなどの本格的な量産体制が整い、ヨーロッパ各国への出荷を開始しました。リンクボールについても、複数の大手自動車メーカー向けの量産体制の構築が順調に進みました。

こうした生産品目の拡大に加え、2006年度からは短納期での受注の増加に対応できるよう生産体制の強化を進めました。2006年度に人材の確保とスキルの向上

業種別売上高構成比（当該年度）



売上高推移



齊藤 洋 THK Manufacturing of Europe S.A.S. 代表取締役社長

を進め、2007年度に入ってからには生産設備の増強に加え、設備稼働率の管理を徹底するなど、体制の強化が着実に進んでいます。

2007年度においても、販社における受注増を支えるべく生産体制の強化を継続していきます。具体的には、欧州でのニーズが強い製品の生産を開始するほか、LMガイドの生産に関し、より初工程に近い工程からの生産に取り組んでいきます。これ

らの施策により、材料費および在庫負担の軽減などによる利益率の向上および短納期化を図っていきます。

今後ともTMEは、生産品目を拡大させつつ、高品質な製品を短納期で安定供給し続け、現地需要が増加する中で現地生産比率50%の達成を目指していきます。

● 販売拠点
○ 生産拠点

体制と事業概要

アジアでは、1989年のTHK TAIWAN CO., LTD.の設立を皮切りに、同年に中国、1991年には韓国に進出しています。

特に今後も成長が期待される中国では、地域統括会社であるTHK（中国）投資有限公司のもと、販売面を同社とTHK（上海）国際貿易有限公司が、生産面を大連THK 瓦軸工業有限公司、THK（無錫）精密工業有限公司、THK（遼寧）精密工業有限公司が担い、需要の増加に向け体制を強化しています。

また2006年12月には、アセアン各国ならびにインド、オセアニア各国等での販売体制強化と顧客開拓を目的に、シンガポールに販売会社、THK LM SYSTEM Pte. Ltd. を設立しました。

販売：旺盛な現地需要の取り込み

■ THK（中国）投資有限公司

中国の統括会社である同社は、2005年9月の設立以降、中国国内での直接販売権の取得やTHK（上海）国際貿易有限公司からの国内販売機能の移管、中国各グループ会社の子会社化などの体制整備を進めてきました。そして2006年度から、中国における本格的な事業展開をスタートさせました。

2006年度は、中国で主力の工作機械向けに関して、生産台数の増加とNC（数値制御）比率の上昇を背景にTHK製品への需要が増加しました。そのような環境の中、旺盛な需要を取り込むべく4つの支店を開設し、高品質かつ多彩な製品群と、製販一体体制のメリットとを最大限活かした販売活動に努め、既存顧客との取引拡大を果たすことができました。また、新規顧客として現地大手企業からの受注を獲得する

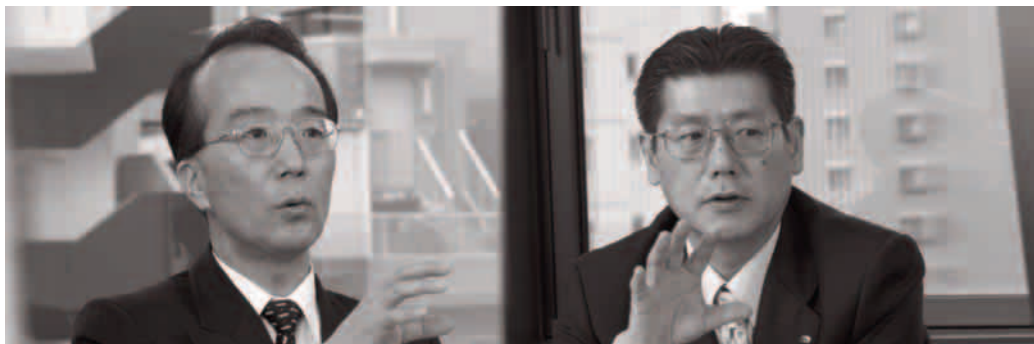
ことができ、今後同業界において横展開を図る上で大きな成果となりました。

2007年度も、新規顧客の開拓を積極的に進めるべく、新たに9支店を開設する予定です。また、今後の需要増加が期待されるユニット品の拡販の準備を進めています。これら販売体制の強化に加え、中国国内に生産拠点を持っているメリットを最大限発揮し、売上高の拡大を図っていきます。

■ THK TAIWAN CO., LTD.

2006年度は、製造業の中国シフトが加速する中、中国を含めたグローバルなサポート体制をアピールするなど、THKグループの総合力を前面に出した営業活動を展開し、増収を達成することができました。

2007年度は、ユニット品の拡販、顧客のニーズにマッチした製品の提供によるシェア向上、代理店販売の強化、南部地域の営業力強化を図っていきます。同時に、幅



大久保 孝 取締役
THK（中国）投資有限公司 総経理
THK（遼寧）精密工業有限公司 総経理

木下 直樹
THK（上海）国際貿易有限公司 総経理

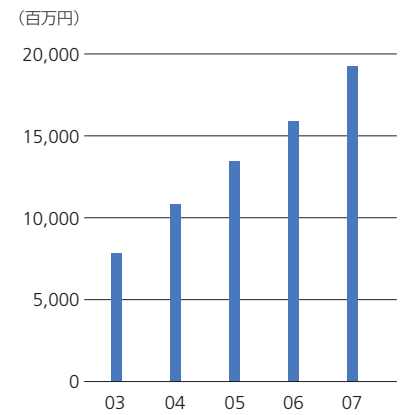
中 国	販売拠点	6
	生産拠点	3
台 湾	販売拠点	3
シンガポール	販売拠点	1
インド	販売拠点	1
韓 国	販売拠点	13
	生産拠点	1

・ THK TAIWAN CO., LTD.
・ THK (中国) 投資有限公司
・ THK (上海) 国際貿易有限公司
・ 大連THK 瓦軸工業有限公司
・ THK (無錫) 精密工業有限公司
・ THK (遼寧) 精密工業有限公司
・ Beldex KOREA Corporation
・ THK LM SYSTEM Pte. Ltd.
・ 三益 THK 株式会社

2007年3月31日現在

※ グループ企業の主な事業内容については、86頁をご参照ください。

売上高推移



3月31日に終了した1年間

広い製品群と、質と量の双方の強みを有する営業体制を活かし、顧客満足度のさらなる向上を図り、6期連続の増収(円ベース)を達成します。

生産：バランスのとれた規模拡大

■ 大連THK 瓦軸工業有限公司

同社は、精密ボールねじおよびアクチュエータを生産しており、中国での製販一体体制の基礎を築いた拠点です。既に4班3直による1日24時間、年間350日稼働の生産体制となっており、黒字体質が定着しています。

2006年度は、工程改善や治工具の見直しによる製造リードタイムの短縮、設備・機械の現地調達による償却費用の低減などを進めました。その結果、生産性の向上を図りながら、生産量を前期比約40%増加させることができました。現在、約

65%が日本への輸出、約35%が現地販売となっています。

現地需要は旺盛であり、今後も生産能力を上回る受注が見込まれます。そのため、高品質を維持しつつ生産量を増加させることが重要なテーマと考えており、2007年度は検査機械を導入し最終検査工程の強化を図り、これまで築き上げてきたお客様からの信頼をさらに高めていきます。

■ THK (無錫) 精密工業有限公司

同社は中国初のLMガイドの生産拠点として2005年1月より生産を開始しました。2006年度は、今後の生産量および生産品目拡大に備え増築工事を完了させるとともに、効率化に向けた生産システムの整備や、チームワークの向上および品質に対する意識を浸透させる全社員参加の活動を実施してきました。なお、2006年度は、約50%が現地販売、約50%が日本およ

び欧州への輸出となりました。

2007年度においては、生産品目をさらに拡大させるとともに、全社員のコスト意識の高揚を図り、低価格・高品質の製品をグローバルに提供する生産拠点として体制を強化していきます。

■ THK (遼寧) 精密工業有限公司

2005年に設立された同社は、中国で工作機械の需要が拡大している中、中国東北地区の現地工作機械メーカーや、中国に進出している日系工作機械メーカーに対してハイエンドのLMガイドを提供すべく、2006年9月に予定どおり出荷を開始しました。2007年度は、拡大の続く需要に応えるべく、4班3直のフル稼働およびISO9001の認証取得に向けて、全従業員の総力を挙げて邁進していきます。



大上 進
THK TAIWAN CO., LTD. 総経理

大野 和重
大連THK 瓦軸工業有限公司 総経理

今野 宏
THK (無錫) 精密工業有限公司 総経理